

最新の
発掘調査成果が
分かる

現地説明会に 行ってみよう！

現地説明会に行くための
5つのSTEP

STEP1 どこで遺跡の発掘調査をしているか調べる

ホームページ等で発掘調査をしている場所や
期間が掲載される場合がありますチェックしてみま
しょう。



古代吉備文化財センターHP
→イベント情報(現地説明会)



総社市文化財HP



岡山市埋蔵文化財センターHP
→令和7年度発掘調査情報



倉敷埋蔵文化財センターHP

STEP2 現地説明会の場所・日時をチェックする

発掘調査で注目される発見があった場合は、新聞
などで公表されます。また、調査主体(県・市町村
など)のホームページを参考に、直接電話で
問い合わせなどの方法があります。事前予約が
必要な場合がありますので、注意しましょう。

STEP3 現地説明会の会場へ行く

屋外ですので、寒さや暑さ対策が必要です。歩き
やすい服装がベストです。場所によっては、車での
来場が制限されることがあるので、事前にリサーチ
しておきましょう。

STEP5 調査担当者の説明を聞き、 質問してみる

実際に発掘調査を行った職員が説明することが
多いです。疑問に思ったことは聞いてみましょう。

STEP4 現地説明会資料をもらう

受付で資料を配布していることが多いので、ぜひ
受け取りましょう。



吉備路が **モット** わかる **おすすめの施設**

総社市埋蔵文化財学習の館



総社市内で出土した考古遺物を
保管し、その一部を公開しています。

住 所 総社市南満手265-3
T E L 0866-93-8071
入館料 無料
開館時間 9:00~16:00
(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)



鬼城山ビジターセンター

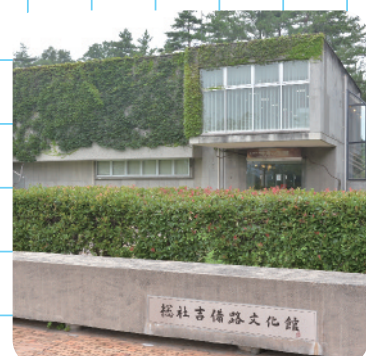


鬼城山周辺の恵まれた自然・歴史
とのふれあいにより、文化財保護と自然
学習を進めるための施設です。

住 所 総社市黒尾1101-2
T E L 0866-99-8566
入館料 無料
開館時間 9:00~17:00
(月曜日、年末年始を除く)



総社吉備路文化館



備中国分寺や鬼ノ城といったこの
地域の史跡について説明したパネ
ル展示やかな書家で文化勲章受章
者の高木聖鶴氏の作品を見ることが
できます。

住 所 総社市上林1252
T E L 0866-93-2219
入館料 無料(一部有料あり)
開館時間 9:00~17:00
(月曜日、年末年始を除く)

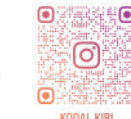


岡山県古代吉備文化財センター



吉備の中山にある古代吉備文化
財センターでは、岡山県内の発掘調
査で出土した遺物を展示しています。

住 所 岡山市北区西花尻1325-3
T E L 086-293-3211
入館料 無料
開館時間 9:00~17:00
(年末年始を除く)



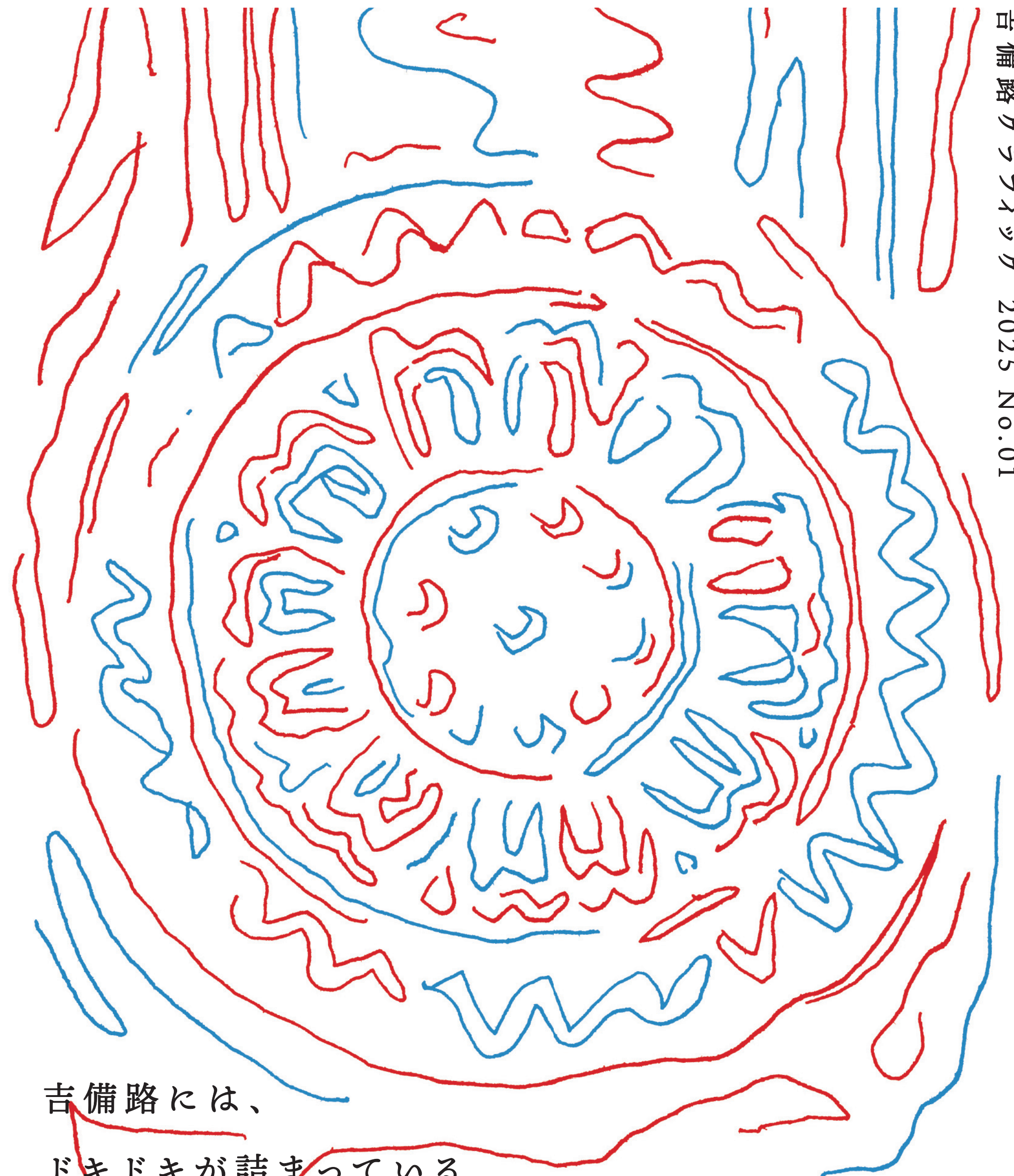
ホームページ

Facebook

KODAI KIBI

kibiji graphic

2025 No.01



吉備路グラフィック 2025 No.01

吉備路には、
ドキドキが詰まっている

びっちゅうこくぶんじあと
史跡 備中国分寺跡



奈良時代に備中国分尼寺とともに創建された国分寺の1つです。ほぼおなじところに日照山国分寺（今から約300年前の江戸時代中期に再興）が建てられているため、創建当初の建物は残っていません。しかし、奈良時代の立派な礎石が点在しており、在りし日の姿が偲ばれます。

ときめきポイント

吉備路のシンボルとして親しまれている備中国分寺五重塔です。江戸時代後期（1844年頃）に完成した県内唯一の五重塔で、その優美な姿は絵画や写真の題材として取り上げられています。

つくりやまこふん
史跡 作山古墳



提供：総社市・株式会社アジア航測



作山古墳の詳しい説明はこちらから
総社市公式観光webサイト
→作山古墳

古墳南東側の「国分寺西」交差点からの眺めがオススメです。この交差点付近は、当時の主要な道が走っていたとされ、作山古墳は埋葬された人物の力の大きさをここを通る人に誇示したと思われる。そんな作山古墳の草刈りが終わる冬になると、非常に美しい段塚を観察できます。ぜひ当時の人になった気分で、古墳の大きさや美しさを体感してみましょう。

きのじょうざん
史跡 鬼城山
きのじょう
(鬼ノ城)



鬼ノ城の詳しい説明はこちらから
総社市公式観光webサイト
→鬼ノ城

ときめきポイント

鬼ノ城に存在する門の中で最大の西門（12.3m×8.2m）は、発掘調査の成果と古建築学の知見を基に復元整備したものです。今日では、総社市を代表とする名所として多くの人が訪れています。また、天気の良い日には四国まで見渡すことができ、訪れた多くの人を魅了します。



写真：小倉護

びっちゅうこくぶんじあと

史跡 備中国分尼寺跡

今から約1300年前の奈良時代、聖武天皇が国ごとに建立を命じた国分寺・国分尼寺の1つです。令和5（2023）年度から、岡山県古代吉備文化財センターによる発掘調査が行われており、建物の規模や基礎構造などが明らかになってきています。



こちらから詳しい調査成果を御覧になれます。
古代吉備文化財センターHP
→史跡備中国分尼寺跡パンフレット

ときめきポイント

寺の中で最も重要な建物である金堂の礎石（柱を支える土台石）です。これらは今でも松林の中で当時と変わらぬ姿で並んでいます。それぞれの礎石をつないでみると、当時の建物の大きさ（東西約20m・南北約13m）を体感できます。

調査担当

イチオシ!!



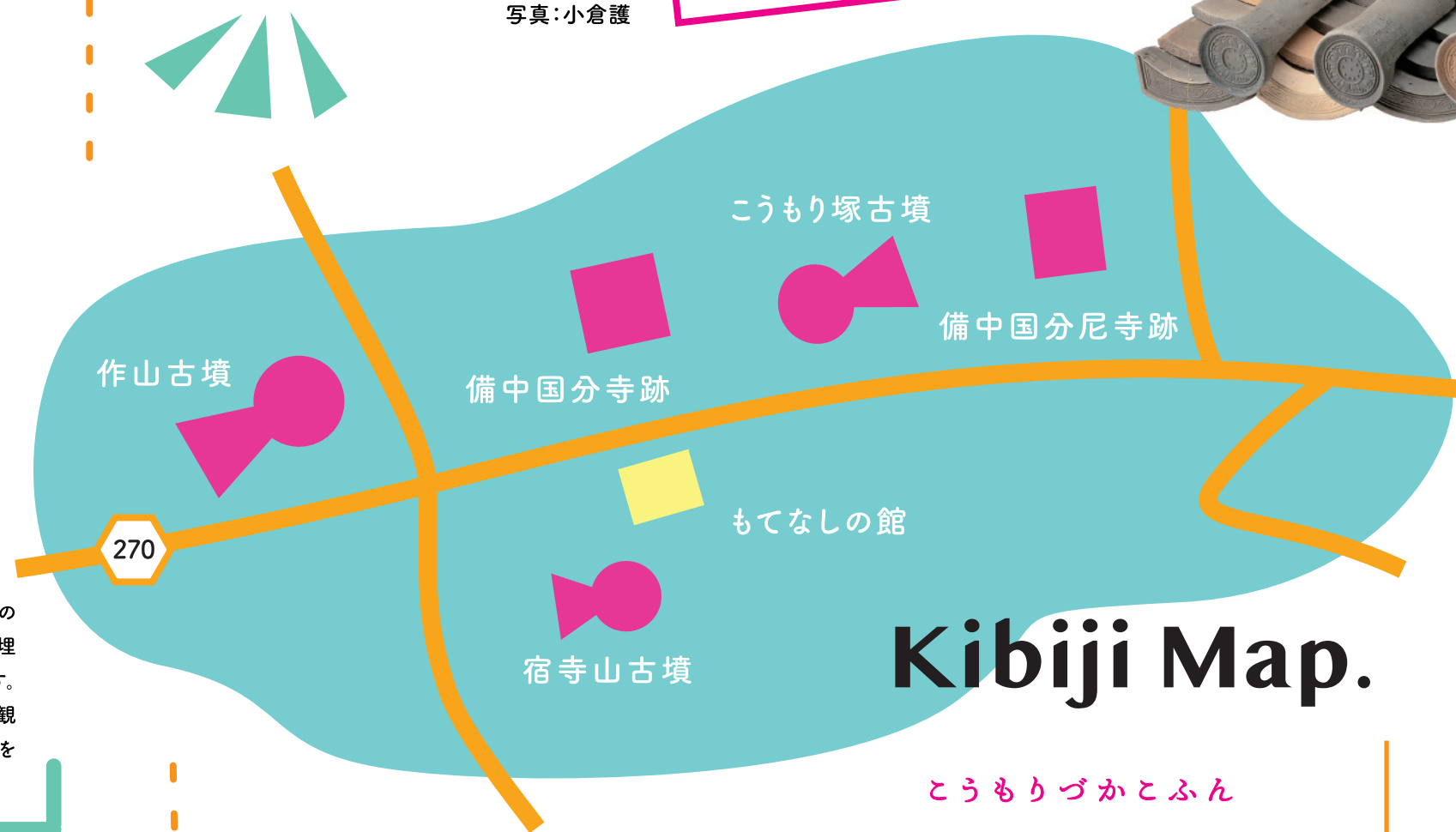
発掘調査で見つかった大量の瓦です。これらの瓦は建物の屋根材として使用され、寺の衰退と共に廃棄されたようです。これらの瓦の作り方などを研究することで、寺の築造、改修の変遷や建物の屋根構造など、多くの情報を得ることができます。



古代吉備文化財センター公式youtubeでは復元瓦の製作動画を公開しています。こちらチェック！

きびじ
吉備路とは

総社市東部から岡山市西部に広がる一帯の総称で、その一部は「吉備路風土記の丘県立自然公園」に指定されています。吉備路には、日本古代史をたどるうえで重要な歴史遺産（国指定史跡等）が集中しています。これら歴史遺産の多くが古代山陽道（近畿地方の都から九州の大宰府をつなぐ交通路）に沿って点在していることから、道路からの眺望を意識したと考えられます。



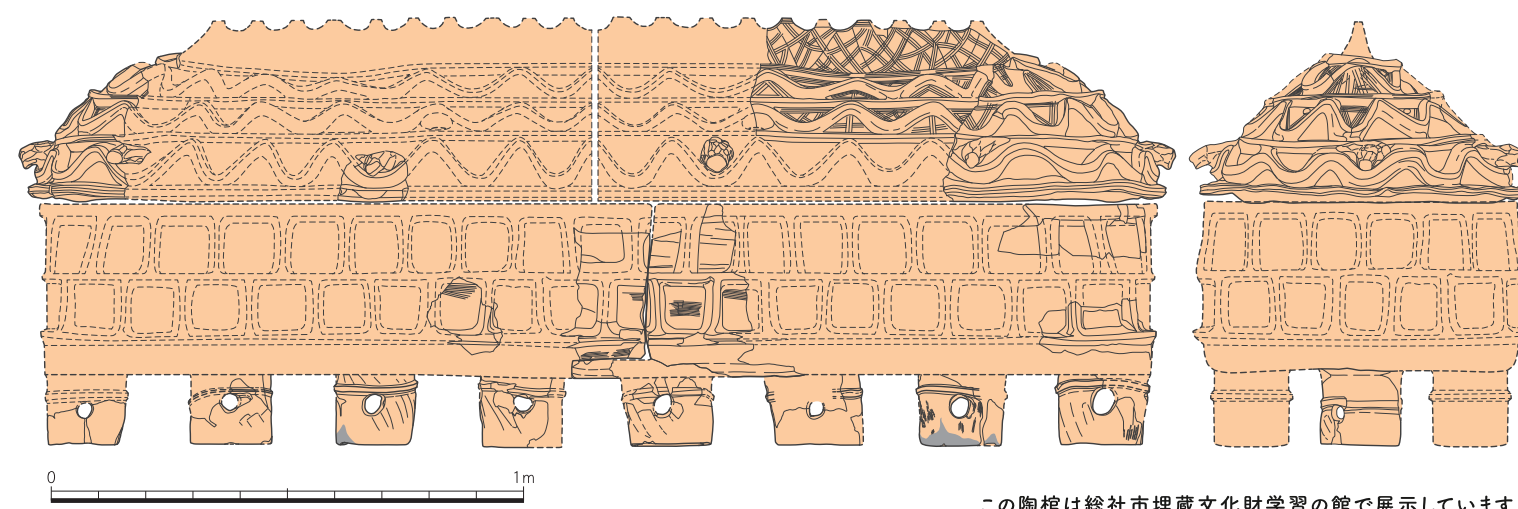
こうもりづかとふん

史跡 こうもり塚古墳

6世紀後半に造られた、墳長約96mの前方後円墳です。その墳形は欽明大王陵との説がある五条野（見瀬）丸山古墳（奈良県橿原市）によく似ており、横穴式石室の形や家形石棺の存在などから、大和政権との政治的な関係をもった人物が埋葬されていたと考えます。令和3・4（2021・2022）年度に岡山県古代吉備文化財センターが発掘調査を行い、のちに古代山陽道が通る南側からの眺望を意識して築造されていることを確認しました。



こちらから詳しい調査成果を御覧になれます。
古代吉備文化財センターHP
→史跡こうもり塚古墳パンフレット



この陶棺は総社市埋蔵文化財学習の館で展示しています。

ときめきポイント

横穴式石室の中で存在感を放つ白色の家形石棺です。この石材は、井原市周辺で産出する浪形石（貝殻石灰岩）です。一方、陶棺も出土しており、粘土を複雑に貼り付けた装飾はとても珍しいです。その意匠から近畿地方との関係が垣間見られます。

調査担当

イチオシ!!



古墳の南からの眺望がオススメです。自然丘陵の先端に小高い後円部を配置することで、人の目を惹きつけ、その奥の前方部に視線を誘導することで、古墳の奥行きを醸し出しています。墳丘上には葺石や埴輪などの飾り気が一切ありません。余分な装飾を省きながらも、計算された墳形と、それを具現化した工人達の技術力の高さには目を見張るものがあります。

時空を超えたスポット探しに出かけませんか